

# デジタルワークフローを用いた 抜歯即時インプラント埋入と 補綴修復



症例提供:  
**Dr. Francesco Mintrone**  
Italy

前歯部の唇側骨確保のためソケットシールド・テクニックを用いた抜歯即時インプラント埋入。  
N1インプラント埋入後、N1ベースを装着し、フルデジタル・ワークフローを活用した  
プロビジョナル製作および最終補綴製作を行い、  
審美性の高いインプラント支台の補綴修復を実現した。



**患者**  
51歳 女性

**外科処置**

ソケットシールド・テクニックにより、N1インプラントを  
抜歯即時埋入し、N1ベースを装着。

**術日**  
2021年1月

**症例ケース**

上顎前歯部の破折

**補綴処置**

ジルコニア・クラウンをセメント固定したユニバーサル・  
シリンダーをN1ベースに装着し、最終補綴修復を実施。

**治療期間**

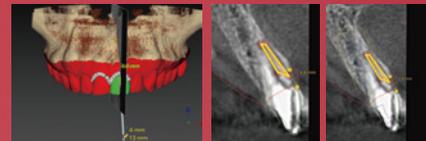
5ヵ月 (最終補綴装置は2021年6月に装着)



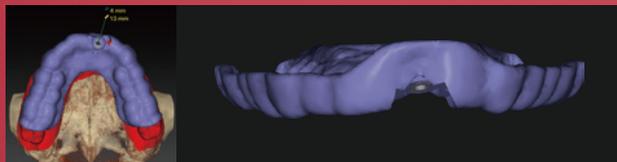
①上顎左側中切歯の破折。術前に、口腔衛生と歯周病の治療を実施し、良好な口腔内環境下で抜歯およびインプラント埋入の実施を予定。右側中切歯は摩耗症。



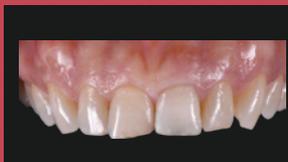
②術前のパノラマX線画像



③DTX Studio™ Implant ソフトウェアによるプランニング。  
唇側骨を温存するためのソケットシールド・アプローチを採択。



④2mmドリル 用のサージカルテンプレートの製作



⑤インプラント埋入および  
プロビジョナル装着後90日



⑥ポジションロケータを装着し、口腔内スキャンを実施



⑦3Dプリンターによる模型製作。左2点は主模型。右2点は歯肉模型。



⑧IOSベースレプリカを模型に装着



⑨IOSベースレプリカにユニバーサルシリンダーを装着



⑩ユニバーサル・シリンダーにジルコニア・クラウンをセメント固定



⑪最終補綴装着前。N1ベース周囲の軟組織が良好な状態を示す。



⑫最終補綴修復後の正面観。左側はインプラント支台の修復。  
右側は天然歯にベニアリング修復。



⑬最終補綴修復後の側面観



⑭良好な軟組織の状態が維持されている。



⑮左:最終補綴装着時 右:最終補綴装着後3ヵ月

# N1 インプラントシステム 臼歯部の抜歯即時インプラント埋入 およびプロビジョナリゼーション



症例提供:

Arturo Llobell  
Spain



アブフラクション、食渣残留、アマルガム修復による症状を伴う下顎右側の乳臼歯を抜去し、N1インプラントを即時埋入後、スクリュー固定の修復物にて暫間補綴修復を実施した。

患者  
33歳 女性

外科処置

下顎右側の乳臼歯を抜去し、N1インプラントを即時埋入後、天然歯を活用したカスタムメイドのヒーリングアパットメントにて即時プロビジョナリゼーションを実施した。

術日  
2019年4月

臨床ケース

予後不良の下顎右側の乳臼歯

補綴処置

スクリュー固定の補綴装置にて修復

治療期間

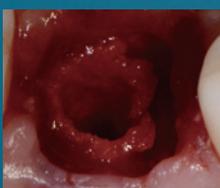
5ヵ月



①アブフラクション、食渣残留、アマルガム修復による症状を伴う下顎右側の乳臼歯



②左: 抜歯窩の咬合面観  
中央・右: オッセオシェーパーによる埋入窩の形成



③左: オッセオシェーパー使用前の抜歯窩  
右: オッセオシェーパー使用後の骨の状態



④左・中央: N1インプラントドライバーを用いたN1インプラントの埋入  
右: 埋入後のN1インプラントの咬合面観



⑤天然歯を活用したカスタムメイドのヒーリングアパットメントにて即時プロビジョナリゼーションを実施し、軟組織形態を整える。



⑥3ヵ月後のフォローアップ。ヒーリングアパットメント装着時および取り外した状態の臨床写真



術前    インプラント埋入時    試適    8ヶ月後のフォローアップ    1年後のフォローアップ



⑦1年後フォローアップ時の臨床写真